

北陸地方整備局入札監視委員会第二部会 第2回定例会議を開催 — 審議概要を公表 —

北陸地方整備局入札監視委員会第二部会は、平成25年度第2回定例会議を9月13日(金)に北陸地方整備局で開催し、平成25年4月から6月までの間に発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務及び物品の調達の中から抽出された6件の事案について、入札及び契約の過程並びに契約の内容について審議を行いました。

審議の概要について、次頁以降にてお知らせします。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」において第三者の意見を適切に反映する方策を講ずることとされていることを踏まえ、公共工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験等を有する者で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約についての審査等の事務を行います。委員会には第一部会と第二部会があり港湾空港関係は第二部会で審議されます。

委員会においては、当地方整備局が発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務及び物品の調達にかかる入札・契約手続きの運用状況等について報告を行い、さらに、委員が無作為に抽出した工事、建設コンサルタント業務等、役務及び物品の調達に関し、一般競争参加資格の設定の理由及び経緯、指名競争入札に係る指名の理由及び経緯、随意契約に係る選定理由等について審議を行い、意見の具申又は勧告を行うこととされています。

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ	新県政記者クラブ
富山県政記者クラブ	石川県政記者クラブ
山形県政記者クラブ	福島県政記者クラブ
福井県政記者クラブ	高山記者クラブ

このほか、長野県関係報道機関へも情報提供。

問い合わせ先

北陸地方整備局入札監視委員会・事務局
電話 025-370-6650 (経理調達課)
契約管理官 木伏 勉
経理調達課長 石井 一博
港湾事業企画課長 元波 守

北陸地方整備局入札監視委員会(第二部会第2回定例会議) 審議概要

開催日及び場所		平成25年9月13日(金) 「北陸地方整備局」(新潟市中央区美咲町1-1-1)	
委員		部会長 溝口 由己 (新潟大学准教授) 委員 柳 則行 (弁護士) 委員 池田 文美 (公認会計士) 部会委員現在数 3名 出席 3名	
審議対象期間		平成25年4月1日～平成25年6月30日	
抽出案件		総件数 6件	(備考)
建設工事	一般競争入札方式 (WTO以外)	3件 伏木富山港(新湊地区)航路(護岸) (東)(改良)築造工事 輪島港(輪島崎地区)防波堤(第6)築造 工事 敦賀港(鞠山北地区)防波堤消波工事 (その1)	
建設 業 務 サ ル タ ン ト	一般競争入札方式	1件 新潟港・新潟港海岸・新潟空港調査監 督等補助業務	
	簡易公募型 競争入札方式	1件 伏木富山港(伏木地区)岸壁(-14m) (改良)(耐震)基本設計	
役 務 品 及 び	一般競争入札方式	1件 北陸地方整備局港湾WANシステム運 用管理	
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等		意見・質問	回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容		な し	

意見・質問	回答
<p>【入札・契約手続の運用状況等】</p> <p>〔入札方式別発注工事等一覧〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑等なし <p>〔指名停止等の運用状況一覧表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)稲葉組の指名停止理由として、なぜ、架空の工事、雇用関係にない者が発覚したのか。 ・ 当局の工事では技術者の雇用関係をどのように確認しているのか。 ・ 電子入札システムの入力ミスを理由に低入札価格調査の協力をしなかったことで指名停止2ヶ月というのは期間が長くないか。 <p>〔再度入札における一位不動状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑等なし <p>〔低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑等なし <p>【抽出案件】</p> <p>1 一般競争入札方式 (WTO以外 港湾土木工事) 「伏木富山港(新湊地区)航路(護岸)(東)(改良)築造工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工能力評価型(標準型)での発注となっているが、なぜチャレンジ型としなかったのか。 <p>2 一般競争入札方式 (WTO以外 港湾土木工事) 「輪島港(輪島崎地区)防波堤(第6)築造工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>3 一般競争入札方式 (WTO以外 港湾土木工事) 「敦賀港(鞠山北地区)防波堤消波工事(その1)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャレンジ型とした理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年の経営事項審査の審査過程で、架空の工事、雇用関係にない者を添付書類に記載していたものを審査した大阪府が発見したもので、発覚に至る詳細な内容までは把握していない。 ・ 当局発注工事では参加業者が申請してきた配置予定技術者の氏名、所属会社、取得資格等をデータベースにより確認している。 ・ 入札手続きにおいて、開札後、低入札価格調査に該当すれば、協力しなければならないこととなっている。本事案については、入力ミスとはいえ、当局の低入札価格調査を拒否したことは不誠実な行為にあたることから、指名停止措置要領により2ヶ月とした。 <p>・ 本年度発注のチャレンジ型は、各事務所において1件以上の試行を予定しており、継続した発注が見込める案件を対象としている。以上を考慮し本年度は、別発注案件をチャレンジ型とすることとし、本案件を標準型とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブロック製作等の継続した発注が見込め比較的容易な工事内容であること。地元C等級の者が参加できること。以上のことからチャレンジ型とした。

・参加実績の無い者の新規参入は有ったのか。

・新規参入が1者あった。

4 建設コンサルタント業務等 (一般競争入札方式)

「新潟港・新潟港海岸・新潟空港調査監督等
補助業務」

・特になし

5 建設コンサルタント業務等 (簡易公募型競争入札方式)

「伏木富山港(伏木地区)岸壁(-14m)
(改良)(耐震)基本設計」

・標準型(1:2)とは何か。

・総合評価における評価値を算出する際の価格評価点と技術評価点の割合を指している。

・価格と技術の評価に関する配点の比率はどのような種類があるのか。

・配点の比率は、1:1、1:2、1:3がある。

・配点の比率はどのような基準で設定しているのか。

・業務の難易度に応じ実施方針と評価テーマ数を定め、価格と技術の評価に関する配点の比率を設定している。

・標準型(1:2)では、競争参加者の誤解を招くのではないか。

・これは通称であり、入札公告や入札説明書では、価格点と技術点の配分点のみが標記されており、標準型(1:2)とは標記されていない。以上のことから競争参加者の誤解を招かないと考えている。

6 役務及び物品

(一般競争入札方式)

「北陸地方整備局港湾WANシステム運用管理」

・特になし

まとめ

・本日の審議の結果、不適切な点、また改善すべき点は認められない。